

## 令和5年度 長後地区全体集会メッセージカード 一覧

整理番号	メッセージ内容
1	<p>[質問1] 市の都市計画についてのマスタープランの無さに驚きました。「高倉下長後線」についても綾瀬線との止まりでは意味がない。</p>
	<p>[回答] 【長後地区整備事務所】 高倉下長後線は長後駅直近の踏切に集中する通過交通を処理するためのバイパス道路としての位置付けです。</p>
	<p>[質問2] 交通問題をもっと大局的に取り組みが必要。</p>
	<p>[回答] 【長後地区整備事務所】 長後地区の交通問題の大きな課題の一つとして、地区の骨格となる都市計画道路が未整備であることが挙げられます。全体集会では、その1路線である高倉下長後線について、現在取り組んでいる事業として、ご報告させていただきました。そのほか、検討段階ということで今回は議題として上げておりませんが、善行長後線や上谷台山王添線について関係部署や隣接市との協議を継続して行っております。</p>
	<p>[質問3] 長後バイパスと国道との立体交差の早期計画(4車線確保のため)、小田急線の立体化によって処理しないと長後での車の混雑はなくなる。</p>
	<p>[回答4] 【長後地区整備事務所】 県道22号(横浜伊勢原線)のことと思われますが、高倉下長後線をはじめ善行長後線や石川下土棚線、上谷台山王添線といった都市計画道路を整備し、ネットワーク化することで車両交通が分散され、交通渋滞の縮小や生活道路への通過交通の流入の減少に繋がると考えています。</p>
	<p>[質問] 長後地区整備事務所で整備計画図はみられますか</p>
	<p>[回答] 【長後地区整備事務所】 高倉下長後線の計画平面図をご覧いただくことは可能です。</p>

2	<p>[質問1] 遊水地には白鷺等の鳥が飛来しますか</p>
	<p>[回答] 【藤沢土木事務所】 下土棚遊水地について、飛来する生物等の調査は行っておりませんが、シラサギをはじめとした、数種類の鳥類が飛来しているのを確認しています</p>
	<p>[質問] 大山街道につながる道路脇に大きな”欒の木”と”こぶしの木”があります。夏は大きく日陰を作ってくれ、暑さから守ってくれています。木を植えればいいというものではありません。あの下土棚地域の緑をなくして小動物はどう生きていきますか。人間を含め動物も共生できる緑のエリアを作ってください。</p>
	<p>[回答2] 【藤沢土木事務所】 区画整理事業は、道路・公園・下水道等の都市基盤整備を行うことにより、防災・衛生・交通機能等の向上を図るものです。事業区域内の樹木の多くは、民地にある樹木で、移転補償の対象となりますが、大きい樹木については移植が難しいことのほか、所有者が今後の維持管理を懸念される方が多くいるためと推測されます。 今後は、所有者の方にはいただいたメッセージの内容をお伝えしてまいります。 なお、下土棚地区内には公園の整備を計画しています。また、下土棚地区内には、下土棚遊水地が整備されつつあり、ビオトープや親水エリアの整備も予定されています。</p>

3

[質問1]  
いろいろな行事の開催情報はどのように得られるのか？

[回答] 【長後市民センター】  
行事については市の広報のほか、地域では全戸配布や回覧などで周知をしております。

[質問2]  
高倉下長後線の進め方かイメージとは？納期は明示されていない。

[回答] 【長後地区整備事務所】  
高倉下長後線についてのご質問ですので、長後地区整備事務所でお答えします。進め方については会場でのご質問に対してお答えしたとおり、西側の農地部分(第1工区)から工事に着手し、順次、第2～4工区へと進めていく計画です。また、全体集会では今年度の取り組み状況ということで、全体の計画期間について触れませんでした。申し訳ありません。事業計画では令和5年度着手、令和24年度完成の予定です。

[質問3]  
長後725号線の説明があいまいである。長後の進展はまず道路の整備が先決である。725号線の長後～湘南台病院の歩道整備を強く望みます。

[回答] 【長後地区整備事務所】  
長後725号線の整備は、まずは駅と市民センターを結ぶ区間に歩道を整備するという目的で進めております。小田急線東側については、今後、地区周辺の都市計画道路の整備状況等を勘案しながら検討してまいります。

[質問4]  
長後地区の現状と課題、データが古すぎる

[回答] 【長後地区整備事務所】  
都市マスタープランの資料の件と思われますが、会場で都市計画課がお答えしたとおり、配布した資料は現段階における最新版(平成30年度)都市マスタープランのものです。今般の改定に当たっては、令和2年版の国勢調査のデータを用いております。

4	<p><b>【質問】</b> 「福祉を中心とした街づくり」はいかがでしょうか？ 高齢化が進んでいる地域なので介護経験を持つ人材は豊富と推測されます。そして、障がい者の支援経験者、育児経験者、地域の福祉事業所とタッグを組み、地域で支えるシステムが作れないか、と。 乗合タクシーは保留になっていますが、例えば駅前にチョコザップなど寄合所を誘致し、会員登録に送迎サービスを組み込んでみるとか。送迎はスマホで依頼(ワンクリックで予約)、送迎ボランティアは(ネットワーク登録し基本的な研修を受講)、動ける人が車を出す(Uber Eats方式)など。運動だけではなくお出かけでも使えます。</p> <hr/> <p><b>【回答】 【郷土づくり推進会議】</b> 市では、「藤沢型地域包括ケアシステム」として、子どもから高齢者、障がい者、生活困窮者等、だれもが住み慣れた地域で、その人らしく安心して暮らし続けることができるよう、市内各地区の地域特性を活かし、市民や地域で活動する団体、関係機関等と連携した支えあいの地域づくりが推進されています。 長後地区においても、ご指摘のとおり高齢化が進んでいる現状がある中で、希薄した地域とのつながりやを地域活動等の新たな担い手不足が課題としてあり、郷土づくり推進会議でも、ボランティアの育成などにも目を向けて、長後地区内での助け合い・支えあいの手段を考えております。 乗り合いタクシーはご承知のように本格運行に至りませんでした。ご提案いただいた内容については今後の活動の参考にさせていただきます。</p>
---	--